



アジア研究図書館開館記念シンポジウム

サブジェクト・ライブラリアンの将来像 —日本の大学図書館への導入拡大に向けて—



東京大学アジア研究図書館
2020年10月1日に開館しました

サ ブジェクト・ライブラリアン制度は、海外では既に認知されていますが、日本ではようやく緒に就いたばかりです。東京大学アジア研究図書館は、そのような試みを本格的に始動させ、制度の確立とその普及を目指しています。

このシンポジウムでは、サブジェクト・ライブラリアン制度の確立と日本の大学図書館への普及に向けて、人材の育成と確保のための新しい仕組みを構築する方法とその課題について議論し、サブジェクト・ライブラリアンの将来像を展望します。

2021年3月15日(月)

9:30-13:00

オンライン開催



事前申込制 締切 | 2021年3月10日(水)

<http://u-parl.lib.u-tokyo.ac.jp/archives/japanese/mh4>

※詳細はお申し込み後にご連絡いたします

無料 | 先着 480 名
どなたでも参加できます



【プログラム】

【第1部】

- 9:30 開会の辞 養輪顕量 (U-PARL 部門長、人文社会系研究科教授)
- 9:35 アジア研究図書館の紹介 小野塚知二 (アジア研究図書館館長、経済学研究科教授)
- 9:50 趣旨説明 中尾道子 (U-PARL 特任研究員)

- 10:15 報告1 吉村亜弥子 (シカゴ大学図書館日本研究ライブラリアン)
 - 米国サブジェクト・ライブラリアンの現状：「博士号オンリー」日本研究専門ライブラリアンによる現場報告
- 10:35 報告2 福田名津子 (松山大学人文学部准教授)
 - 通訳としてのサブジェクト・ライブラリアン：図書館の言語、研究の言語
- 10:55 報告3 渡邊由紀子 (九州大学附属図書館准教授)
 - 九州大学大学院ライブラリーサイエンス専攻による大学図書館員の人材育成

- 11:20 来賓特別報告
 - 三宅隆悟 (文部科学省研究振興局参事官(情報担当)付 学術基盤整備室長)
 - 大学図書館に対する期待—大学図書館を巡る政策動向の視点から—
- 11:35 コメント1 大向一輝 (人文社会系研究科准教授)
- 11:45 コメント2 北村由美 (京都大学附属図書館准教授)

【第2部】

- 12:05 パネル・ディスカッション
 - モデレーター：養輪顕量 (U-PARL 部門長、人文社会系研究科教授)
 - パネリスト：小野塚知二, 吉村亜弥子, 福田名津子, 渡邊由紀子, 大向一輝, 北村由美
- 12:50 閉会の辞 藤井輝夫 (理事・副学長)